２００８年 ３月 ３日

町田市長 石阪 丈一

厚木基地における夜間連続離着陸訓練（ＮＬＰ）の中止等について（要請）

2月29日、防衛省から、空母キティホーク艦載機の着陸訓練について通告がありました。

昨年10月のＮＬＰに引き続き、今回の通告も、天候等の事情がない限り、低騒音の機種も含めて厚木基地ではＮＬＰを実施しないとの内容であり、厚木基地の騒音の軽減に配慮がされたものと考えます。

しかし、依然として、硫黄島において所要の訓練が実施されない場合には、厚木基地においてジェット機を含む全機種の訓練が行われる可能性があり、これは、ＮＬＰの厚木基地からの全面移転を強く求めてきた厚木基地周辺住民の願いに反するものです。

貴職におかれましては、日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮され、天候等の事情があっても、すべての訓練を硫黄島で実施するよう、また仮に、硫黄島で所要の訓練が実施できない場合においても、周辺に人口が密集している厚木基地においては訓練を実施しないよう、（米側に申し入れるとともに、このことについて日米双方で再度調整するよう）強く求めます。

※（　）内は日本側の要請に挿入する。

【宛先】

駐日米国大使	J･トーマス･シーファー	
在日米軍司令官	エドワード･A･ライス中将	
在日米海軍司令官	ジェームズ･D･ケリー少将	
厚木航空施設司令官	ジャスティン･D･クーパー大佐	様
外務大臣	高 村 正 彦	
防衛大臣	石 破 茂	